

日本福祉心理士会 ニューズレター (No. 1)



発行者：日本福祉心理士会会長 佐藤泰正
発行日：2014年12月30日
事務局：〒123-0874 東京都足立区堀之内2丁目15-5
(田研出版株式会社内)
FAX：03-3853-5901
E-MAIL：fukusin@taken.co.jp

福祉心理士会会長 佐藤泰正

—「福祉心理士」の活躍を祈る—

福祉施設に入所している人たちの心理的問題の解決にあたっている皆様の活躍に心から敬意を表します。福祉に関する心理的問題を解決することを目的とした「福祉心理士」が国家的な資格とされるように働きかけていることが当面の私達の仕事と考え、その方面への働きかけを行っています。現在、心理学関係の学会が一体となって、いろいろな領域における心理士の必要性や仕事の内容などを取り上げ、国家資格となるように国会（衆議、参議）に働きかけ、関係する国家機関もその方向に向かっていきます。心理関係の学会も足並みをそろえて、国家資格確保に向かっていく状況です。近い将来実現することと思っています。皆様方のさらなる発展を祈ります。

佐藤 泰正 先生
前日本福祉心理学会会長

福祉心理士会副会長 請井征力

—科学的な支援・援助を行う「福祉心理士」に期待する—

こんにちは。このたび福祉心理士会の副会長という重責を拝命いたしました請井（うけい）と申します。よろしくお願い致します。福祉心理士資格をえて5年を過ぎようとしています。私自身、「福祉心理士」の資格を得たことにより、その重要性を痛感し、合わせて自信をもって現在の仕事につけているのは事実です。福祉の業界に入りまして

46年を経過いたしました。現在も発達障害の子どもたちや家族を中心に福祉心理相談・支援・療育を行っております。現状を見ていますと情報にもありますように発達障害等の子どもたちは増加しているように感じています。それゆえ、ますますこの仕事の重要さをひしひしと感じているところです。私の関係する領域においても心理的な問題を担当する人材の必要性が叫ばれています。「援助・支援・療育」という営みは「科学的」でなければならないと思っています。科学的な根拠に基づかない「援助・支援・療育」は、受ける人たちに混乱をもたらすだけです。特に専門家あるいは専門職と呼ばれる人たちは、当然のことながら、科学的な支援・援助をすることが期待されています。そして、そのことによって発達障害の人たちの豊かな生活を築いていく手段が出来るはずです。まさにこのことに鑑みて「福祉心理士会」の役割の重要性を感じています。今後、会の役員として微力ではありますが、福祉心理士資格所有者の増加と拡充に協力できればと思っています。最後に、「日本福祉心理学会」のますますの発展と「福祉心理士会」の充実・発展を祈念します。

請井 征力 先生

現在、社会福祉法人 佑啓会 市原市福祉会館

事務局 宮本文雄・富樫ひとみ

事務局を務めております富樫ひとみでございます。現在、事務局は宮本文雄先生と2人体制で運営しております。至らないところがあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願い申し上げます。福祉心理士会の活動を振り返りますと、組織体制が整いだしてから早くも1年が経ちました。その間、幹事会が3回開催され、地区ブロック担当者やニュースレター担当者などが決められていきました。その結果、多くの先生方のご尽力によって九州地区に「九州福祉心理士会」が設立され、ニュースレター第1号が発信されることになりました。このように、会としての活動が活発化していく事はとても嬉しく感じております。しかし、会は産声を上げたばかりで、まだまだ組織としての体制が十全というわけではございません。何より地区ブロックでの活動の活発化が必要だと考えております。それには、会員の皆さまのお力がぜひとも必要です。「こんなことをしたい」「こんなことを取り上げてほしい」などのお声を、ぜひお聞かせください。皆さまの研鑽に役立つような活動を行っていくよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

宮本 文雄 先生 東日本国際大学

富樫 ひとみ 先生 茨城キリスト教大学

各地域からの報告

<九州福祉心理士会会長 野口幸弘>

九州福祉心理士会の立ち上げをしました。

もともと九州地区は、大学と福祉現場の協働による様々な研究会や協議会が活発な地域です。そのような状況下で、福祉心理学会においても九州で活動をしていくための福祉心理士会の立ち上げようとする機運が出てきました。こうした流れの中で、十島雍蔵先生のご指導の下 2014年6月西南学院大学において、大迫秀樹先生、大西良先生、占部尊士先生、稲谷ふみえ先生、野口が集まり九州福祉心理士会の規約等の確認をしながら福祉心理士会を立ち上げました。この会の発足によって、九州地区の福祉関連の大学、機関、福祉現場に関わる人たちのネットワークができていけるように着実に進めていきたいと考えています。

(野口幸弘：九州福祉心理士会 九州支部会長、
西南学院大学)

<北海道地区：後藤 守>

北海道地区を担当している後藤と申します。この広大な北海道の地にどのような福祉心理士の活躍できる世界を定着させることができるか全く白紙です。しかし、この機会だからこそ、北海道地区の皆さんと協力して、ドラえものの「どこでもドア」に負けないネットワーク作りをして、

平野信喜先生の持論にも負けない「幸せをはぐくむ実践」を展開できる土壌を育てていきたいと思っています。まずは、大学間ネットワーク作りを！現在、「北海道農業大学オホーツクキャンパス・北星学園大学・北海道文教大学トライアングル（仮称）」を組み立て中です。このニュースレターを目にされた方は、ぜひ、どなたでも、私のメールアドレスにご一報いただければ幸いです。

(後藤守：福祉心理士会幹事 北海道文教大学)

連絡先/gotom@do-bunkiyodai.ac.jp)

<東北地域から：大原天青>

東日本大震災から3年半が経過しました。震災による津波・原発の影響は今なお多くの人々の生活に困難をもたらしています。とくに福島県浪江町、双葉町、大熊町などは全町避難せざるを得ない状況におかれています。会津若松市には大熊町に住民票がある住民のうち1978名(18.2%)が今なお仮設住宅で暮らしています。家族が分断され小中学校の生徒は減少し、これまでのつながりを保てなくなっている状況があります。多くの福祉的問題を抱え、同時に心理・社会的な面でのサポートを必要としています。被災者に対しても福祉心理学が求められています。

(大原天青：福祉心理会幹事 会津大学短期大学)

委員会からの報告

ニュースレター委員

今号は、はじめてのニュースレター発行です。大原天青・高田真規子・田中周子の3名が、ニュースレターの委員を務めます。福祉心理士の動向・方針、福祉心理士会主催の研修等の情報提供に加え、学会や認定委員会のお知らせなどもお伝えします。今後は、会員の研究・実践と福祉心理学との関連や、福祉心理学関連の書籍を紹介する場ともなるようにと考えています。なお、学会のホームページも合わせてご覧いただけますと幸いです。会員の皆様方の情報の発信が活発に行われるよう努力いたしますので、ご指導よろしくお願い申し上げます。

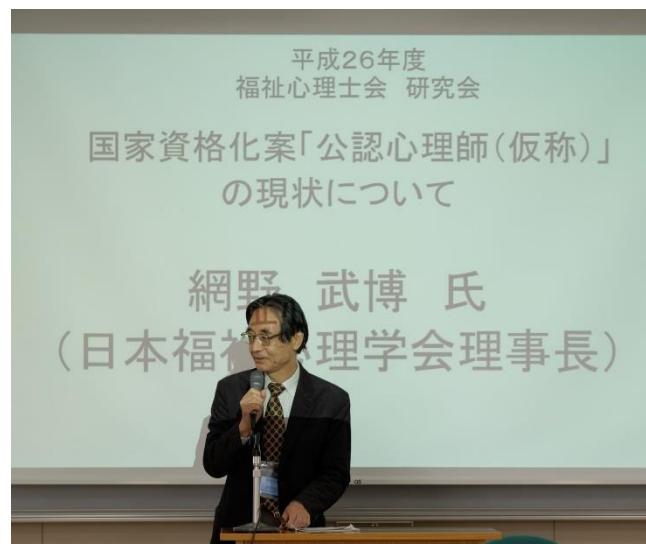
(田中周子：福祉心理士会幹事たなかファミリークリニック・立正大学心理臨床センター)

福祉心理士会第1回 全国大会開催

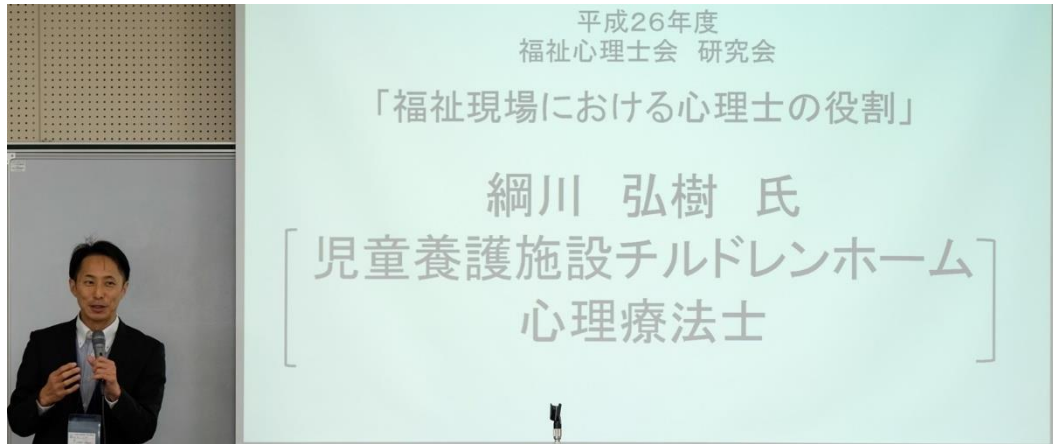
2014年12月6日(土)7日(日)に日本福祉心理学会第12回大会が開催されました。7日には福祉心理士会第1回全国大会が開催され、総会および研究会が開かれました。

研究会では、日本福祉心理学会理事長であります網野武博先生から、『公認心理師(仮称)』の現状について』というテーマで、歴史的な経緯も含めてお話がありました。実際に公認心理師法案が成立した場合の福祉心理士との関係についても検討していくことについても報告がなされました。

次に、児童養護施設チルドレンホーム心理士であります綱川弘樹氏より、「福祉現場における心理士の役割」という題で、施設の中で心理士として働いていくうえでの苦悩や工夫、取り組みの変遷についてお話がありました。具体的にはご自身の取り組みを大きく4段階に分けて、それぞれの実体験を踏まえた説明がありました。①生活の中に心



理士として溶け込むよ
うに努力された時期、
②個別の心理療法を
中心として治療構造
や他職種との役割分
担について検討してき



た時期、③職員の機能を高めるために、職員の負担の軽減のための取り組み、施設運営についての提案を行った時期、
④職員組織の機能を高め、生活と心理の双方からの取り組みを行った時期についてでした。そして、子どもの QOL の向
上に向けて心理士も含めた施設職員が一体となって取り組んでいく必要性について提言がありました。

事務局からのお知らせ

福祉心理士会は、「福祉心理士」資格認定委員会と同様、豊島区北大塚（田研出版株式会社内）に事務局を置いて運営を推進して参りましたが、このたび業務と管理体制の効率化のため、足立区堀之内（田研出版株式会社内）へ事務局が移転する運びとなりました。これを機に「福祉心理士」の飛躍をより一層目指して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、連絡先につきましては F A X 番号を下記の通り変更いたしますので、併せてご連絡申し上げます。

業務開始日：平成 26 年 10 月 27 日（月曜日）
新住所：〒123-0874 東京都足立区堀之内 2 丁目 15-5（田研出版株式会社内）
新 F A X：03-3853-5901
E-MAIL：fukusin@taken.co.jp